

科目名	人文社会看護学演習Ⅲ Humanities and social Nursing SeminarⅢ			担当教員 (研究室番号)	小池 敦 (510) 浦野 茂 (503) 安部 彰 (505) ドライデン いづみ (502) 森下 直紀 (508)		教員への連絡方法 (メールアドレス)					
履修 年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目		選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	2 (30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
											遠隔授業	一部
科目 目的	看護ケアの実践とその対象となる人々の生活経験（日常生活、誕生、病気、障害、死など）をめぐる問題や課題について、履修者の研究テーマと関わりある主題を取り上げ、その心理的・社会的・倫理的側面について検討することにより、理解を深める。											
ディプロ マ・ポー リ ン (DP)	主要なDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。										
	関連する DP	4. 看護教育者あるいは看護実践者としての基礎的な教育能力を修得している。										
到達 目標	看護ケアの土台を構成している心理的体験と社会的環境・倫理性について、既存の看護実践の捉え直しにもとづき、その新たなあり方を構想し推進できるような能力を獲得することが、この科目の目標です。											
成績評価方法 (基準)		授業における報告（50%）、授業への参加状況（50%）										
教科書		適宜指示します。										
参考書等		適宜指示します。										
受講者への メッセージ		既存の看護実践と医療のあり方やそれらの基本的前提について、看護学からはいったん離れて心理学・社会学・倫理学の観点から検討し直すことができれば、と考えています。										
備考												
回	学習項目				学習内容					主担当 教 員	授業 方法	
1回	オリエンテーション				この授業の目的・概要・進め方について説明する。					全員	対面 (演習)	
2回	健康行動学 1				健康行動学に関する研究論文を抄読し、この領域の研究に対する看護学の寄与と将来の展望について討議する。					小池	対面 (演習)	
3回	健康行動学 2				健康行動学に関する研究論文を抄読し、この領域の研究に対する看護学の寄与と将来の展望について討議する。					小池	対面 (演習)	
4回	健康行動学 3				健康行動学に関する研究論文を抄読し、この領域の研究に対する看護学の寄与と将来の展望について討議する。					小池	対面 (演習)	
5回	AIの可能性				世界におけるAIの動向を看護英語情報誌から読み取り、AIの将来的可能性について考察・検討する。					ドライ デン	対面 (演習)	
6回	AIと人間の将来				看護英語情報誌から、AIと人間の将来について考察・検討する。					ドライ デン	対面 (演習)	
7回	保健医療福祉の課題と病の語り				実際の病の語りの検討を通じ、保健医療福祉における実践上の課題を明らかにする。					浦野	ライブ 配信	
8回	保健医療福祉の課題と社会構造				各種の社会統計データを参照し、保健医療福祉における課題と社会構造との関係について検討する。					浦野	ライブ 配信	
9回	保健医療福祉と職業				各種保健医療専門職の組織化の観点から、保健医療福祉における課題について検討する。					浦野	ライブ 配信	
10回	社会的偏見の有る病と地域医療の在り方 (1)				水俣病事件について概説します。					森下	対面 (演習)	
11回	社会的偏見の有る病と地域医療の在り方 (2)				初期の水俣病事件の保健行政の対応を中心に検討します。					森下	対面 (演習)	
12回	生命・医療倫理の諸問題 (1)				受講生が関心のある生命・医療倫理の諸問題について先行研究を批判的に検討する。					安部	対面 (演習)	
13回	生命・医療倫理の諸問題 (2)				受講生が関心のある生命・医療倫理の諸問題について先行研究を批判的に検討する。					安部	対面 (演習)	
14回	生命・医療倫理の諸問題 (3)				受講生が関心のある生命・医療倫理の諸問題について先行研究を批判的に検討する。					安部	対面 (演習)	
15回	まとめ				ディスカッションを通じ、心理的側面・社会的側面・倫理的側面からの看護ケアのアプローチの意義について検討する。					全員	対面 (演習)	